

## 平成 29 年度アーツカウンシル新潟 成果検証について

平成 29 年度 アーツカウンシル新潟

○人員：7名（プログラムディレクター1名、プログラムオフィサー5名、スタッフ1名）

○予算：50,000千円（人件費37,000千円、事務費・事業費8,000千円、助成金5,000千円）

目標 (アーツカウンシル 新潟の目指す方向)	実施事業 (Activities) 平成 29 年度	直接の結果 (Outputs) (平成 30 年 3 月 9 日現在)	事業の成果 (Outcomes) 【短期/個人/意識】	事業の成果 (Outcomes) 【中期/周囲の人々/状況】	事業の成果 (Outcomes) 【長期/地域/結果】	指標 課題の解決/振興に向けた変化	ビジョン推進 に向けた今後の 働きかけ
1. 社会包摂の実現 に貢献する、あらゆる 市民が主体の文化 芸術活動の活性化  ビジョン 1-(1)(3)(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の文化芸術活動に対する助成、相談、マッチング等の支援活動</li> <li>地域文化の担い手育成の支援</li> <li>社会包摂事業の実施に向けた調査研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民相談対応 (276 件)</li> <li>財団活動助成 (応募 32 件/採択 21 件)</li> <li>団体基盤強化助成 (応募 8 件/採択 8 件)</li> <li>市以外の助成制度 (国際交流基金) 申請 (1 件)</li> <li>beyond2020 プログラム認証 (74 件)</li> <li>市民プロジェクト人材育成支援 (8 回 127 人)</li> <li>文化庁 3331 連携によるライブ配信 (11 回 172 人)</li> <li>文化情報スペースの運営</li> <li>「語りの場」の開催 (7 回 117 人)</li> <li>社会包摂モデル事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の文化芸術への興味が高まる</li> <li>多様な主体の文化活動が充実する(質的・量的)</li> <li>地域文化を知り、興味が高まる(地域の愛着、コミュニティ意識の醸成)</li> <li>子ども・若者・障がい者・高齢者及びこれらを取りまく人の意識・行動が変化(高齢者の外出機会増、ひきこもり減、地域活動への参加等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術の裾野が広がる</li> <li>多様な主体(ステークホルダー)同士が関わりあう</li> <li>担い手の育成につながる</li> <li>文化による地域コミュニティの交流が進む</li> <li>家族、地域での過ごし方が変化(家族の負担軽減・コミュニティ参加、交流の活性化含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化度が上がる</li> <li>市民の文化力が向上する(社会的課題の解決へ貢献)</li> <li>持続的な文化継承の環境が整う(世代交代)</li> <li>多様な社会背景の担い手を中心とした地域交流拠点が形成される</li> <li>他者への理解促進、共生社会への意識の変化</li> <li>障がい者や高齢者の生活の質が向上する(新たな才能の発見。社会活動への参加)</li> </ul>	<b>鑑賞行動:市民自体の参加(享受)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動に初めて参加する人の割合</li> <li>多様な文化芸術参加数(複数分野への参加)</li> <li>家庭内で文化芸術が話題になる頻度</li> </ul> <b>市民活動:市民活動の活性化(団体)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動団体の法人化数</li> <li>構成員の人数、年齢構成(若返り)</li> <li>文化芸術活動団体の活躍(メディア露出の頻度)</li> </ul> <b>多様性、寛容性:障がい者・高齢者の参加(社会包摂)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者・高齢者の文化芸術活動(地域活動)の参加率</li> <li>障がい者・高齢者の自発的な事業数</li> <li>障がい者・高齢者と健常者との交流の活発化</li> </ul> <b>教育:子ども、親の参加(教育)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの文化芸術活動(地域活動)の参加率</li> <li>学校教育における文化芸術科目、部活の参加者数</li> <li>子どもの学習意欲の向上(好奇心の醸成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民窓口の拡充</li> <li>市民へのアウトリーチ活動の継続実施(語りの場等)</li> <li>団体、行政への専門人材派遣</li> <li>社会包摂政策への助言</li> </ul>
2. 新潟文化の形成、 発信による北東アジアの文化交流拠点都市の形成  ビジョン 1-(4) 2-(1)(2) 3-(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市国際文化交流事業への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日仏都市文化対話アールブリュット展示支援</li> <li>NIDF2017 開催運営支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域文化への興味・理解が高まる</li> <li>多様な文化に触れ、自らの文化を意識する(地域への愛着増)</li> <li>「外」に開いた意識が醸成される(自らの文化を外に発信する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化と関わりが深まり自ら活動を行う市民が増える</li> <li>文化芸術を通じたコミュニケーション、相互交流が活発になる</li> <li>国際的な感覚を意識し、身に着ける人が増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化度が上がる</li> <li>国際交流が活発に行われる都市となる</li> <li>国際的な拠点として地域が活性化(交流人口、人材集積等)</li> </ul>	<b>市民アイデンティティ:市民の愛着の醸成(誇り)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の地域愛着度(市民アンケート調査等)</li> <li>地元就職率</li> <li>新潟文化イメージの定着</li> </ul> <b>交流人口:観光集客(都市魅力)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光入込客数(増加率)、宿泊日数、観光消費額</li> <li>外国人入込客数、宿泊日数、観光消費額</li> <li>広域観光連携先、連携事業の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業実行委員会への出席、助言</li> <li>専門人材の外部ネットワークの紹介</li> </ul>
3. 文化芸術の多面的利活用による文化交流創造都市・新潟の基盤強化とブランド発信  ビジョン 1-(2)(3) 2-(1) 3-(1)(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃校や空き店舗等を活用した地域文化交流および市民活動拠点の形成</li> <li>県内文化施設の連携会議設置に向けた調査研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市芸術創造村助言</li> <li>所管課以外への助言(3課1機関)</li> <li>県内公立文化施設連携可能調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新潟」を知る、興味をもつ人が増える</li> <li>市民が文化芸術の価値を再評価する(社会的な課題と文化活動を結び付けて考えられる)</li> <li>新たな文化交流の場が増える(人や企業が集まる環境が整う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新潟」ファンが増える</li> <li>多様な主体により地域力が強化される</li> <li>新たな産業のきっかけができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新潟」に集う人が増える</li> <li>「新潟文化」が国際ブランドとして定着</li> <li>多様な主体の社会への影響力が増進される</li> <li>多様な主体が社会的に使命を果たす</li> <li>産業が拡大し強くなる</li> </ul>	<b>ブランディング:外部の評価(都市格)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際会議、学会、国際的イベント等の誘致件数</li> <li>新潟文化の全国紙メディア露出の頻度</li> <li>地域ブランド調査の魅力度ランキング順位</li> </ul> <b>経済・雇用:創造企業の育成(経済)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>創造産業関連企業の立地数、雇用者数</li> <li>創造産業関連ベンチャーの起業数(アントレプレナーシップ数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連所管課への働きかけ、助言</li> <li>専門人材の外部ネットワークの紹介</li> <li>創造産業振興への助言</li> </ul>
4. 持続的・自律的なアーツカウンシル組織の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主財源の確立</li> <li>アートマネジメント人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化庁戦略的芸術文化創造推進事業受託</li> <li>プログラムオフィサーの研修派遣</li> <li>他自治体視察対応(7件)</li> <li>メディア掲載(14件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ACの知名度(設置意義の理解含む)・信頼度が向上する(市民、関係者)</li> <li>地域ACの全国モデルとして、国・県・関係機関からの認知度・信頼度が向上する</li> <li>スタッフの能力が向上する(地域の課題認識、専門知識の蓄積、適切な支援)</li> <li>市内外の様々な主体とのネットワークが形成される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ACとしての存在感の拡大(国・県・関係機関等からの受託等が増える)</li> <li>組織の持続・自律に向けた人材育成の体制が整備されている</li> <li>AC新潟を軸とする産学官の連携体制が構築されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民主体の自律的・持続的な文化芸術活動が増えている。</li> <li>AC新潟の安定的な経営基盤が確立されている。(国・企業からの助成金等増や他団体からの事業受託等)</li> <li>文化芸術に投資する市民、企業が増える。(企業メセナ活動の定着、個人協賛やクラウドファンディングの定着、文化芸術基金制度等の増)</li> </ul>	<b>企業CSR:多様な主体の参加(支援環境)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会構成における企業数</li> <li>企業協賛数(文化芸術事業における)</li> <li>官民一体となった文化芸術活動の活性化</li> </ul> <b>組織の自律にかかる内部評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主財源確保(市以外の資金調達率)</li> <li>人材育成(人事評価からの定性評価)</li> <li>行政連携(所管課以外との連携、貢献)</li> <li>プレゼンスの向上(メディア露出数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジョンの評価システムの構築(総合行政への展開)</li> <li>持続的な文化芸術支援・推進体制の構築</li> <li>市内の専門人材の育成</li> </ul>